

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 (2) 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 (3) 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇第2学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡文書が保護者に届く割合は、生徒が増加、保護者が減少となっており、確実に保護者が必要とする内容のものが届いていないようである。 ・先生の学習指導・生徒指導・進路指導などに対する評価が下がっており、先生の働き方改革や学習評価について検討が必要である。 ・学習時間調査（前期中間時）によると、前年度の2年生より時間が若干増加しているが、十分とは言えない。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇中堅学年としての自覚と責任（規範意識を含む）を強くもち、自己管理能力を身につけて望ましい生活習慣を確立する。 ◇落ち着いた日常生活を送る中で、自己の目標の実現に向けて着実に努力する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学年団と教育相談・生徒指導との連携と、生徒情報の共有 ・進路指導部と進路についての情報交換 ・保健室や教育相談との連携 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 身だしなみ指導の徹底 (2) 欠席・遅刻・早退減の指導 (3) 毎日の朝読書の実施	(1) 身だしなみ指導個票の活用と生徒への意識 (2) 中堅学年としての意識・行動 (3) 朝読書取組での様子観察	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学年集会を実施 ・欠席や遅刻した生徒と保護者への状況確認 ・毎日の朝読書による授業へのスムーズな移行 ・進路ガイダンスの実施 ・一般常識問題の実施 ・修学旅行に向けての事前指導 	①自己管理能力を身につけさせ、生活習慣の確立に向けて学年団が連携して指導できたか。 ②生徒の目標実現に向けて組織的な対応ができたか。 ③修学旅行に向けて、生徒の意識向上が図れているか。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果課題	○新しい入試制度も意識した1年後の進路実現に向けた取組みとして、進路指導部と協力してガイダンスを実施した。 ○朝読書実施は生徒に定着してきており、1時間目の授業に落ち着いて取り組める姿が見られるので継続していきたい。 ▲身だしなみに対する意識の低い生徒がいるので、継続して指導していきたい。 ▲問題行動が多く、生徒の規範意識を高めていきたい。	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・今の出席状況や成績、生活態度等に関して状況を反省させ、3年生に活かせるような指導をしたい。 ・進路実現に向けて、進路と連携をして具体的な進路目標を意識させ早い時期から取り組みたい。 ・学年団として、日常生活の身だしなみや挨拶指導を強化したい。また、自己管理能力と人への心遣いを養っていきたい。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月6日

【意見・要望・評価等】

・進路実現に向けて、学年ごとに進路ガイダンスを実施している。